

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3470205992		
法人名	有限会社 ピースフル		
事業所名	グループホーム 海老園 はなみずき		
所在地 (電話番号)	広島市佐伯区海老園一丁目7-21 (電話)082-924-7766		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成 20年 8月 21日	評価確定日	平成 20年 9月 1日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 8月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 7 人 , 非常勤 11 人 , 常勤換算	11.6人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 改築
建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	実 費	
敷 金	有(円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 150,000 円) <input type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	生協さえき病院・あおぞら診療所
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

普通の家庭のような環境の中での生活を、との思いで設立された当ホームは「① ゆったり楽しく②自由にありのままに③いっしょのケア、そしてケアされるケアへ④ 残された力で暮らしの喜びと自信を⑤いつも同じ、なじみの環境⑥暮らしのあらゆる場面で⑦適度であること」の理念を掲げて、職員一同良く理解し日々のケアが行なわれている。利用者の表情も穏やかで、職員と共に支え合いながらゆったりと毎日を過ごしている。地域に対しても積極的に取り組み、町内行事等にも進んで参加し地域の理解が得られるように努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 評価の意義や重要性は職員間でよく理解されていて、前回改善点 ① 市との連携、② 御意見箱の設置をして家族からの意見要望を出しやすくする。についても、ミーティング等でよく話し合われていて、御意見箱が設置され、サービスの質の向上に向けて役立っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・計画作成担当者が自己評価を行ない他の職員は殆んど参加していない。次回からは全員参加による自己評価となることを期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議では外部評価やホームの内容や行事予定等を報告しメンバーの意見や助言をホームのサービスの向上に役立っている。ホームとして地域に積極的に取り組んでいるがまだ会議のメンバーが少くこれからの成果が期待される。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 重要事項説明書に苦情相談機関を明示し家族の面会時に利用者の状況を説明し毎月の請求書発送時にスナップ写真や近況を書き加えている。より家族の意見要望が出しやすくする為、家族会の設置が望まれる。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の一住民として町内会の役員や認知症セミナーの講師を引き受けたり町内行事に積極的に参加し、又ネットワーク会議等を通じて地域の方々との交流を深めるように努力している。
	重点項目④

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社の定める理念のもとに利用者がその能力に応じて毎日を地域の中でゆったりと普通の生活が安心して暮らせる様に職員間でサポートしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化を深める為、朝礼や毎月の職員会議で繰り返し確認して理念の共有化に努めている。		理念を壁等に掲示されることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一住民として町内の行事に利用者と共に積極的に参加したりネットワーク会議を通じて地域の方々や自治会などとの交流を深める様に努めている。また町内会の役員や認知症セミナーの講師を引き受けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や重要性はよく理解されており外部評価の結果をミーティング等で良く話し合いサービスの質の向上や改善に役立てている。 自己評価は管理者・計画作成担当者中心に作成されており職員は殆んど参加していない。		次回から全員参加による自己評価となることを期待する。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に会議を開催され結果をミーティングで話し合わせられホームの運営とサービスの向上に役立っている。本年は会議での御家族の要望もあり日帰り旅行が行われた。 会議の参加者が少なく内容が一方向的な報告にかたよりがちである。	○	運営推進会議をもっと巾広いメンバー構成にすると共に、ホームの経過報告だけでなく双方向的な会議となるよう、内容の充実が期待される。

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ネットワーク会議や勉強会等に積極的に参加をしている。又提出書類等も郵送ではなく、直接持参して交流を深める様にしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に利用者の現状を説明するとともに毎月の請求書送付の時に状況・金銭管理・事業所の現況等を同封するようにしている。		ホームの現状を御家族や周囲の方々により理解してもらう為、ホーム便りを作られることを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談機関を明記するとともに、ホームの玄関に苦情箱を設置している。又面会時や運営推進会議等を利用して意見を出してもらうようにしている。		より家族の方々の意見が出し易いように家族会の設置が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の混乱を避けるためユニット間の異動は行っていない。職員の離職の際は細心の注意を払い、職員間のコミュニケーション、利用者との信頼関係には特に気を配っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時に研修を行うと共にその後も非常勤職員も含め計画的に社内外の研修に参加して、職員のレベルアップに努めている。		職員のレベルアップに対してより効果を上げる為、体系的な研修体制を作られる事が期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域グループホームとの交流を深め、積極的に情報交換を行い、サービスの質の向上に努めているが、管理者同士の交流にとどまり職員間の交流の場は特にない。	○	管理者同士だけでなく職員を含めた交流を期待したい。

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居や職員の自宅への訪問などを通じて、利用者や家族の意見や要望を話し合い、入居後の信頼関係に重点を置いて利用者本位のゆったりと普通の生活が送れるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者個人の経験を活かして各人の得意なことを本人主導で職員と一緒にを行うようにして毎日をその人らしく暮らせる様に工夫している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の暮らしの中で利用者の希望や意見を聞き出すように努め、又家族の方からも生活歴や意向を聞かせてもらい利用者がその人らしく過せるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の希望・意見・意向を良く聞いた上で職員会議で検討し本人や家族からの了解を得て介護計画に活かすようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にミーティングをして利用者の状態に応じて介護計画見直しを行っているが、状況の変化があるときは、随時見直しを行い家族の了解を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常的な散歩、買物等の他に利用者家族の要望に応じて通院・墓参など臨機応変に対応するようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の要望があればかかりつけ医の受診も支援している。又常に医師と連絡を取り、利用者の健康管理に気を配っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居前に家族の意向をよく聞き、医師・訪問看護ステーション・家族の方と話し合いの上終末期に対する方針を決めている。 「重度化・終末期ケア対応指針」を作り、入居時に家族の方と良く話し合い意思確認をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対して、利用者に対する言葉使いや慣れてごんざいにならぬよう意識向上を指導している。 個人情報情報は職員全員がよく理解して鍵の掛る戸棚に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者それぞれのペースを大切にして食事・起床・入浴など時間を設けずその人らしくゆったりと過せるように心掛けている。		

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎週の献立を一緒に考え職員も一緒に食卓につき、それとなく全体的見守や声掛けを行いながら食事をしている。又食事の準備や後片付けも出来る人には手伝ってもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は毎日午後7時迄自由に入浴出来るようにしている。又希望の少ない方には職員が声掛けをして入浴してもらうようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者や家族の方との話しの中から各人の趣味や生活歴を把握して、それぞれの得意なこと(生花・パン作り等)を職員と一緒に楽しみながらその力を発揮出来るように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日外出担当の職員を配置して、ホームに利用者が籠らないように、散歩、買物、ドライブ等各人の気持を大切に何時でも外出できるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかける事の弊害をよく理解しており、日中は鍵をかけないで見守を重視した支援を行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年2回の全職員を含めた災害訓練を行い、又運営推進会議でも議題に上げて地域との協力体制作りに向けて努力しているが地域を含めた全体の意識はまだ低い。	○	地域との連携を作るように取り組んでいるが、まだ充分とは云えず、地域での協力体制作りが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の希望を入れて偏らないよう注意をしながら献立をしている。 水分補給も職員が注意をしながら利用者と一緒に気楽に飲めるよう工夫している。		水分摂取量の記録を残されることが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気作りを大切にして過度の装飾をさげ、利用者が落ち着いて暮せるように配慮されている。 音・光・空調は適度に管理されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れた道具や家具等を持ち込みその人らしい落ち着いた雰囲気の部屋で各人がゆったりとした毎日を送っている。 各部屋の清掃も行き届いている。		

NPOインタッチサービス広島

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

I 理念の基づく運営

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	普通の一日の流れと同様、食材を買いに行き、散歩やお店、通院、美容院等、地域の中の資源を使いながら生活して頂けるように心掛けています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日の朝礼、月のミーティング、カンファレンスにて理念、方向性を確認し取り組んでいます。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族には毎月ご様子と写真にて報告を行い、面会時には口頭により報告しております。地域に対しては日々の挨拶、町内会活動、各地域会議にて報告させていただいています。	○	面会に来られない家族の方との距離を感じております。電話等で話をする事が精一杯で大きな改善はみられていません。

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	外出時、出勤退社時に挨拶等行っております。町内会に加入させて頂き地域活動にも取り組んでいきたいと思えます。催し等がある場合は回覧板で回していただいています。	○	見学会等、回覧板等で参加を募ってはいますが、地域からの参加者が少ないのが現状です。今後は公民館等にも働きかけていきたいと思っています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内での行事参加、推進会議、ネットワーク会議等で、地域、自治会との交流の場をつくっています。	○	昨年よりは交流の場が増えてきたように思います。今後希望者がおられましたら、当事業所の畑、フロアーを開放し、地域の方に活用していただこうと思っています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	推進会議、ネットワーク会議等で、当事業所の開放案、方法をお願いしております。また、地域包括支援センターのご協力もあり、地域の方に認知症についての講義をさせていただいています。	○	この講義をきっかけに地域の中でこまっている介護問題等を気軽に相談にきていただける体制作りをしていきたいと思っています。
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	毎年、評価機関の評価結果をミーティング等で話し合い必要に応じて改善に努めています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度推進会議を開催し、話し合った結果等をミーティング等で話し合っております。推進会議にご家族の参加をお願いし、要望など出させていただきたいと思っています。	○	ご家族よりご要望があれば、実行していきたいと思っています。今後は地域よりご要望等、いただけるようになっていきたいと思っています。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	提出書類等は、郵送でなく、できるだけ直接持っていき、会話の場を作っております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	推進会議にて地域包括支援センターより説明していただきました。ミーティングにて職員に説明しております。また、現在利用されているかたもおられます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員は研修等で情報を持ち帰り、ミーティング等で話し合いをしております。現在も、拘束等行っておりません。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事業所側の話ばかりをせず、今ご家族が抱えている問題をお聞きし、当事業所でのメリット、デメリットを充分にご理解いただけるように努めております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	日々利用者様との会話を重要視し意見を言いやすい環境作りを心がけています。苦情が出た場合、必要に応じてその日、又は、会議にて解決策を話し、ご本人様に報告しております。	○	外部者に対する特別な働きかけはしていませんが、必要に応じて、公共機関等へ一緒に出かけ説明等行っております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月の請求書に記載又は、写真とともに同封させていただきます。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時の会話、苦情箱の設置を行い努めております。現在は比較的、ご意見をいただけていると思います。	○	外部者に対する特別な働きかけはしていませんが、必要に応じて、公共機関等へ一緒に出かけ説明等行っております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々職員との会話を心掛けています。意見をよく管理者は聞いています。必要なことに関しては、管理者が経営者と連絡をとり早期解決も心掛けています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	ご家族に関しましては、その都度時間調整をさせていただきます。利用者様に関しましては、日中は毎日いつでも対応できる職員を1名配置しております。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者様の混乱を避けるため、ユニット間での異動は原則行っておりません。離職の際は細心の注意をしています。職員のための食事会等で信頼関係を深める努力をしています。		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各委員会を設け職員のスキルアップを図るとともに各研修に、常勤、非常勤職員関係なく参加しています。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	管理者同士での交流の場はありますが、職員間での交流の場は特にはありません。	○	定期的な交流会の開催が難しかったため、他事業所見学等を通し交流を深めていきたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	積極的に会話をするように心掛けています。また、年数回の食事会（忘年会等）でストレスの軽減に努めています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	居室担当、行事、委員会等職員に役割を持ってもらうことで自信や、向上心につながるように心掛けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	契約前に必ず当事業所に足を運んでいただくか、訪問させていただき、直接話をさせていただきます。その際一方的な話にならない様に気をつけています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	一方的に入居を勧めていくのではなく、当事業所の方針、家族の抱えている問題のギャップがないように家族の立場を優先し話し合いをおこなっています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時は必ず、他の事業所、他のサービスも含め話し合いを行っている。本人様の1番適した環境を見つけられるよう話し合いを行っています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	職員は会話、他者との関係作りを心がけ、必要に応じて家族にも当面は面会回数を増やしていただく等対応しております。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	集団的な活動に捕らわれず、調理、漬物、生花等個人個人されてきた事を、ご本人主導で行っています。誕生日、四季の行事等、職員と一緒にしています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	四季の行事、誕生日、毎月の行事や、テレビ、映画等見たりしながら、日々を過ごしています。悩みがある場合はしっかりと耳を傾ける努力をしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	ご家族は悪くなった点のみを見がちですが、良いことを中心にお伝えしています。調理風景等見られ、昔の母を思い出しましたと言っていただけのご家族もいます。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会、外出の制限はなくいつでも来ていただけるようにしています。時には子供さんの家を訪ねる事もあります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	相性の良い方同士をテーブルに座っていただき、ストレスの少ない環境を作るように心がけています。皆さん良く話をされています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後ご家族が、近況報告に来られたり、ご本人様と一緒に来られる事もあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	起床、就寝、食事時間等個人差があり自由にされています。これまでの生活リズムを極力崩さないように努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話、ご家族からのお話より情報を得ています。その中で生活リズムを把握し、それぞれの生活リズムを大切にしております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の記録、バイタルチェック、訪問看護の定期巡回で対応しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族、本人様からの情報をもとに介護計画を作成し、毎月のカンファレンスで状況報告、意見当を話し合い行っています。	○	ご家族によっては面会等もなく電話のみでの対応となっています。少しでも足を運んでいただくか、必要に応じて訪問する等の取り組みが必要と思います。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状況の変化や、カンファレンスで出た意見によって必要に応じて変更しています。		ご家族によっては面会等もなく電話のみでの対応となっています。少しでも足を運んでいただくか、必要に応じて訪問する等の取り組みが必要と思います。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録より必要に応じ参考にはしていますが、現状は介護計画書が中心で、記録を活かされていないと思います。	○	記録の整理が必要。必要な情報を現状の記録ではすぐに出せないため手間がかかっています。
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	お墓参りや、日用雑貨などの買い物・その代行、近隣の病院への通院など希望があればその都度行っております。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	入居者様からのご要望は現在ありませんが、町内行事、消防訓練等参加させていただいています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	住んでいた地域に行きたいとの要望に対し、その地域の公民館行事に参加できるように段取りをした経験があります。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの連携はありませんが、権利擁護事業を利用していた事があります。	○	現状で権利擁護事業等必要性が出た場合連携し支援していききたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	当事業所の提携医はおりますが、今までの病院に掛かりたい方はそのまま継続していただいております。近郊であれば当事業所で送迎もしています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	現在の提携医の先生は熱心に相談にのってくださいます。正式に登録された認知症の登録医ではありませんが今後も連携し対応していききたいと思います。	○	現在は提携医に掛かっている利用者様のみの対応となっておりますので、今後他医療機関とも認知症に関し連携し、入居者様の支援体制を作っていきたいと思えます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回訪問看護の巡回があり、入居者様全員の健康管理・状態観察をしていただいております。		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時はお見舞い等に伺い、看護師、相談員、家族等相談をさせていただいております。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	入居前にご家族、ご本人様の意向を聞き、訪問看護ステーションとも連携体制を作ってはいますが、繰り返し話し合いは現在もっていません。	○	急変等様々な可能性が考えられるため、今後定期的な意思の確認等行っていきたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	訪問看護ステーション、かかりつけ医と相談し方針を決めています。以前もかかりつけ医より適切な助言等いただき対応しました。	○	かかりつけ医が複数おられるため今後に向けて、さらに連携、理解が得られるようにしていきたいと思います。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	家族と相談のうえで決めています。利用者さまによって、話し合う場合と告げずにとした場合と協議のうえ決定しています。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	記録に関しては他者より目のつかない場所で保管しています。言葉使いは指示的な言葉を使わないように各職員指導をしています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日々説得ではなく納得していただけるように声かけをしています。同時に会話は選択肢があるような声かけをしご本人様が話しやすい環境作りを心掛けています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事、起床、就寝、活動等時間を設けず、個人のペースで過ごしていただけるように心掛けています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	基本的に衣類はご自身で選んでおられます。選択が難しい場合は職員と一緒に選んでおります。買い物に関しては持ってこられる場合と、買いに行く場合とにわかれています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理が好きな方には一緒に参加していただいています。献立はほぼ毎日一緒に考えています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご家族、医師の指示がない場合は制限はしておりません。以前は喫煙等ありました。現在は稀に晩酌などの飲酒があります。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個人個人の排尿パターンを考え誘導、声かけを行っています。できるだけオムツ、パット等の使用はしないようにしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	午後より 7 時ごろまで浴室を開放しています。曜日の指定はありません。時間は希望される方は希望にあわせて、希望のない方は職員より声をかけ決めています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	起床、就寝時間は設けず自由にしていただいています。日中も同様です。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活歴や、家族、ご本人様の話より昔からあるゲーム（花札・マージャンなど）、生花、調理畑の世話等個人の得意な事を個別に行っています。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理、支払いのみ、金庫管理等、認知症の進行にもよりますが、それぞれでの対応をしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日外出担当の職員を配置しいつでも出られる体制にしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	外出は自由で、ご家族と他県へ行かれたり、個別にお墓参り・食事等にできる限り対応していきたいと思います。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	荷物が届いたり、希望された時は電話や、手紙等されています。お正月は年賀状を書かれる方もおられます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族が来られた時に居心地をよく過ごしていけるように心掛けています。面会時間も制限を設けずに来ていただけるようにしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開所以来拘束は行っておりません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	安全のため裏門・階段部分のみ鍵をかけています。	○	鍵をかけない方法を考えていかねければいけないと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中はバイタルチェック等で所在を確認し、夜間は定期巡回にて対応しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	金品はお預かりしていますが、私物の管理はできておりません。紛失したケースはありませんが、対策を練っているわけではありません。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修等参加し、会議の時に発表をし各職員と情報を共有しています。	○	研修等を行います継続的に緊張感をもったり知識を継続することがむつかしいです。
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	救急救命の研修に不定期ではありますが参加しております。	○	研修等を行います継続的に緊張感をもったり知識を継続することがむつかしいです。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難場所を決めてはいますが、各地域の意識、職員の意識はまだ低いように思います。	○	今後地域の方も含めた消防、非難訓練等行っていきたいと思ひます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	面会時での話や、毎月のご様子を送る中で事故等のリスクが高い場合は説明しています。リスクは高くても様々な抑制がないように心掛けています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェック、様子を観察し、変化があれば速やかにかかりつけ医、訪問看護と連携をとり対応しています。	○	高齢者は自覚症状が少ないため見落としがないよう気をつけていきたいと思ひます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	各個人の薬の種類を綴じ、各職員理解しています。分からない時は担当医に説明を求めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	高齢者の便秘は多く、運動を嫌う方、食べ物を残す方は難しく、薬にて対応しています。	○	薬ではなく自然排便できるように対策を考える必要があります。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝晩の口腔ケア、義歯管理は行っていますが、拒否や、磨くだけでの対応では不十分と思ひます。	○	歯科への通院、歯科往診（希望者のみ）を行っています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立を考える際に偏らないように注意をしています。水分も時間をみては職員、入居者様と一緒に気楽に飲めるように心掛けています。	○	以前は同系列に栄養士がおり献立のチェックができていましたが、離職されたため、栄養士の連携を作っていききたいと思えます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	予防注射や、勉強会等で対応、意識を強めています。手洗い・うがいの励行。	○	これで完璧と言うことはないので今後も意識を切らないように努めていきたいです。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	塩素系液体で掃除は行っています、食材も賞味期限を注意し食材管理に努めています。	○	これで完璧と言うことはないので今後も意識を切らないように努めていきたいです。
<p>2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	極力物を置かないようにし清潔感を出したいと思っています。植物等の緑が足りていないと思います。	○	植物を増やしていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	施設臭くなく飾り物や置物等も家で使っているものを使用しています。子供っぽくならないように心掛けています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	談話スペースを確保し部屋以外でも静かな時間 気のあった方同士の時間が取れるように気をつけています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	身体的に害があるものの場合を除き本人、ご家族と相談し好きなもの、馴染みの深い物を持ってきていただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日中の換気、共同スペース、各居室に温度計を設置し温度管理に努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりや、机等を利用し移動して頂いています。 車椅子や、歩行器、階段には昇降機をつけ対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	失敗ごとも本人の前で指摘せず、見えないように職員で対応しています。自信を無くすより、持っていただきたいと思っています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	現在は畑のみ外にありますが、好きな方は楽しんでおられます。		

V サービスの成果に関する項目 1階

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① ほぼ全ての利用者の ● ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① 毎日ある ● ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ● ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① ほぼ全ての利用者が ● ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ● ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ● ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ● ③ あまり増えていない ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての職員が ● ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ● ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらい ● ③ 家族等の1/3くらい ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

I 理念の基づく運営

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	普通の一日の流れと同様、食材を買いに行き、散歩やお店、通院、美容院等、地域の中の資源を使いながら生活して頂けるように心掛けています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日の朝礼、月のミーティング、カンファレンスにて理念、方向性を確認し取り組んでいます。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族には毎月ご様子写真にて報告を行い、面会時には口頭により報告しております。地域に対しては日々の挨拶、町内会活動、各地域会議にて報告させていただいています。	○	面会に来られない家族の方との距離を感じております。電話等で話をする事が精一杯で大きな改善はみられていません。

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	外出時、出勤退社時に挨拶等行っております。町内会に加入させて頂き地域活動にも取り組んでいきたいと思っております。催し等がある場合は回覧板で回していただいています。	○	見学会等、回覧板等で参加を募ってはいますが、地域からの参加者が少ないのが現状です。今後は公民館等にも働きかけていきたいと思っています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内での行事参加、推進会議、ネットワーク会議等で、地域、自治会との交流の場をつくっています。	○	昨年よりは交流の場が増えてきたように思います。今後希望者がおられましたら、当事業所の畑、フロアーを開放し、地域の方に活用していただこうと思っています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	推進会議、ネットワーク会議等で、当事業所の開放案、方法をお願いしております。また、地域包括支援センターのご協力もあり、地域の方に認知症についての講義をさせていただいています。	○	この講義をきっかけに地域の中でこまっている介護問題等を気軽に相談に来ていただける体制作りをしていきたいと思っています。
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	毎年、評価機関の評価結果をミーティング等で話し合い必要に応じて改善に努めています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度推進会議を開催し、話し合った結果等をミーティング等で話し合っております。推進会議でご家族より日帰り旅行に行きたいとのご希望があり、本年度実施いたしました。	○	ご家族よりご要望があり、実行できたことが大きな自信となっております。今後は地域よりご要望等、いただけるようになっていきたいと思っています。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	ネットワーク会議、自主勉強会等に参加させていただいております。また、提出書類等は、郵送でなく、直接持っていく、会話の場を作っております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	推進会議にて地域包括支援センターより説明していただきました。ミーティングにて職員に説明しております。また、現在利用されているかたもおられます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員は研修等で情報を持ち帰り、ミーティング等で話し合いをしております。現在も、拘束等行っておりません。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事業所側の話ばかりをせず、今ご家族が抱えている問題をお聞きし、当事業所でのメリット、デメリットを充分にご理解いただけるように努めております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	日々利用者様との会話を重要視し意見を言いやすい環境作りを心がけています。苦情とが出た場合、必要に応じてその日、又は、会議にて解決策を話し、ご本人様に報告しております。	○	外部者に対する特別な働きかけはしていませんが、必要に応じて、公共機関等へ一緒に出かけ説明等行っております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月の請求書に記載又は、同封させていただいています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時の会話、苦情箱の設置を行い努めております。現在は比較的、ご意見をいただけていると思います。	○	外部者に対する特別な働きかけはしていませんが、必要に応じて、公共機関等へ一緒に出かけ説明等行っております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々職員との会話を心掛けています。意見をよく管理者は聞いています。必要なことに関しては、管理者が経営者と連絡をとり早期解決も心掛けています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	ご家族に関しましては、その都度時間調整をさせていただきます。利用者様に関しましては、日中は毎日いつでも対応できる職員を1名配置しております。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者様の混乱を避けるため、ユニット間での異動は行っておりません。離職の際は細心の注意をしています。職員のみ食事会等で信頼関係を深める努力をしています。		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各委員会を設け職員のスキルアップを図るとともに各研修に、常勤、非常勤職員関係なく参加しています。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	管理者同士での交流の場はありますが、職員間での交流の場は特にはありません。	○	定期的な交流会の開催が難しかったため、他事業所見学等を通し交流を深めていきたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	積極的に会話をするように心掛けています。また、年数回の食事会（忘年会）等でストレスの軽減に努めています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	居室担当、行事、委員会等職員に役割を持ってもらうことで自信や、向上心につながるように心掛けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	契約前に必ず当事業所に足を運んでいただくか、訪問させていただき、直接話をさせていただきます。その際一方的な話にならない様に気をつけています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	一方的に入居を勧めていくのではなく、当事業所の方針、家族の抱えている問題のギャップがないように家族の立場を優先し話し合いをおこなっています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時は必ず、他の事業所、他のサービスも含め話し合いを行っている。本人様の1番適した環境を見つけられるよう話し合いを行っています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	職員は会話、他者との関係作りを心がけ、必要に応じて家族にも当面は面会回数を増やしていただく等対応しております。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	集団的な活動に捕らわれず、調理、漬物、パン作り、生花等個人個人されてきた事を、ご本人主導で行っています。誕生日、四季の行事等、職員と一緒にしています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	四季の行事、誕生日、毎月の行事や、テレビ、映画等見たりしながら、日々を過ごしています。悩みがある場合はしっかりと耳を傾ける努力をしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	ご家族は悪くなった点のみを見がちですが、良いことを中心にお伝えしています。調理風景等見られ、昔の母を思い出しましたと言っただけのご家族もいます。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会、外出の制限はなくいつでも来ていただけるようにしています。時には子供さんの家を訪ねる事もあります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	相性の良い方同士をテーブルに座っていただき、ストレスの少ない環境を作っています。皆さん良く話をされています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後ご家族が、近況報告に来られたり、ご本人様と一緒に来られる事もあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	起床、就寝、食事時間等個人差があり自由にされています。これまでの生活リズムを極力崩さないように努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話、ご家族からのお話より情報を得ています。その中で生活リズムを把握し、それぞれの生活リズムを大切にしております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の記録、バイタルチェック、訪問看護の定期巡回で対応しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族、本人様からの情報をもとに介護計画を作成し、毎月のカンファレンスで状況報告、意見当を話し合い行っています。	○	ご家族によっては面会等もなく電話のみでの対応となっています。少しでも足を運んでいただくか、必要に応じて訪問する等の取り組みが必要と思います。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状況の変化や、カンファレンスで出た意見によって必要に応じて変更しています。		ご家族によっては面会等もなく電話のみでの対応となっています。少しでも足を運んでいただくか、必要に応じて訪問する等の取り組みが必要と思います。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録より必要に応じ参考にはしていますが、現状は介護計画書が中心で、記録を活かしてきれていないと思います。	○	記録の整理が必要。必要な情報を現状の記録ではすぐに出せないため手間がかかっています。
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	日常生活の中でお墓参りや通院などの援助を行っています。これからもご要望があれば、その都度行っていきたくと思っています。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	入居者様からのご要望は現在ありませんが、町内行事、消防訓練等参加させていただいています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	住んでいた地域に行きたいとの要望に対し、その地域の公民館行事に参加できるように段取りをした経験があります。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの連携はありませんが、権利擁護事業を利用していた事があります。	○	現状で権利擁護事業等必要性が出た場合連携し支援していききたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	当事業所の提携医はおりますが、今までの病院に係りたい方はそのまま継続していただいております。近郊であれば当事業所で送迎もしています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	現在の提携医の先生は熱心に相談にのってくださいます。正式に登録された認知症の登録医ではありませんが今後も連携し対応していききたいと思います。	○	現在は提携医に係っている利用者様のみの対応となっておりますので、今後他医療機関とも認知症に関し連携し、入居者様の支援体制を作っていききたいと思います。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回訪問看護の巡回があり、入居者様全員の健康管理をしていただいております。		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時はお見舞い等に伺い、看護師、相談員、家族等相談をさせていただいております。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	入居前にご家族、ご本人様の意向を聞き、訪問看護ステーションとも連携体制を作ってはいますが、繰り返し話し合いは現在もっていません。	○	急変等様々な可能性が考えられるため、今後定期的な意思の確認等行っていきたくと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	訪問看護ステーション、かかりつけ医と相談し方針を決めています。以前もかかりつけ医より適切な助言等いただき対応しました。	○	かかりつけ医が複数おられるため今後に向けて、さらに連携、理解が得られるようにしていきたいと思っています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	家族と相談のうえで決めています。利用者さまによって、話し合う場合と告げずにとした場合と協議のうえ決定しています。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	記録に関しては他者より目のつかない場所で保管しています。言葉使いは支持的な言葉を使わないように各職員指導をしています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日々説得ではなく納得していただけるように声かけをしています。同時に会話は選択肢があるような声かけをしご本人様が話しやすい環境作りを心掛けています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事、起床、就寝、活動等時間を設けず、個人のペースで過ごしていただけるように心掛けています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	基本的に衣類はご自身で選んでおられます。選択が難しい場合は職員と一緒に選んでおります。買い物に関しては持ってこられる場合と、階に行く場合とにわかれています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理が好きな方には一緒に参加していただいています。献立は毎週一緒に考えています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご家族、ドクターの指示がない場合は制限はしておりません。以前は晩酌、喫煙等ありました。現在は希望者なく実施しておりません。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個人個人の排尿パターンを考え誘導、声かけを行っています。安易にオムツ、パット等の使用はしないようにしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	午後より 7 時ごろまで浴室を開放しています。曜日の指定はありません。時間は希望される方は希望にあわせて、希望のない方は職員より声をかけ決めています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	起床、就寝時間は設けず自由にしていただいています。日中も同様です。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活歴や、家族、ご本人様の話よりゲーム的なものではなく、生花、パン作り、漬物等個人の得意な事を個別に行っています。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理、支払いのみ、金庫管理等、認知症の進行にもよりますが、それぞれでの対応をしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日外出担当の職員を配置しいつでも出られる体制にしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	外出は自由で、ご家族と他県へ行かれたり、個別にお墓参りに言ったり等できる限り対応していきたいと思います。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	荷物が届いたり、希望された時は電話や、手紙等されています。お正月は年賀状を書かれる方もおられます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族が来られた時に居心地をよく過ごしていけるように心掛けています。面会時間も制限を設けずに来ていただけるようにしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開所以来拘束は行っておりません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	安全のため裏階段のみ鍵をかけています。	○	鍵をかけない方法を考えていかねればいけないと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中はバイタルチェック等で所在を確認し、夜間は定期巡回にて対応しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	金品はお預かりしていますが、私物の管理はできておりません。紛失したケースはありませんが、対策を練っているわけではありません。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修等参加し、会議の時に発表をし各職員と情報を共有しています。	○	研修等を行います但し継続的に緊張感をもったり知識を継続することがむづかしいです。
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	救急救命の研修に不定期ではありますが参加しております。	○	研修等を行います但し継続的に緊張感をもったり知識を継続することがむづかしいです。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難場所を決めてはいますが、各地域の意識、職員の意識はまだ低いように思います。	○	今後地域の方も含めた消防、非難訓練等行っていきたいと思っています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	面会時での話や、毎月のご様子を送る中で事故等のリスクが高い場合は説明しています。リスクは高くても様々な抑制がないように心掛けています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェック、様子を観察し、変化があれば速やかにかかりつけ医、訪問看護と連携をとりたいおうしています。	○	高齢者は自覚症状が少ないため見落としがないようきをつけていきたいと思っています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	各個人の薬の種類を綴じ、各職員理解しています。分からない時は担当医に説明を求めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	高齢者の便秘は多く、運動を嫌う方、食べ物を残す方は難しく、薬にて対応しています。	○	薬ではなく自然排便できるように対策を考える必要があります。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝晩の口腔ケア、義歯管理は行っていますが、拒否や、磨くだけでの対応では不十分と思います。	○	歯科の通院、往診も検討していきたいです。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立を考える際に偏らないように注意をしています。水分も時間をみては職員、入居者様と一緒に気楽に飲めるように心掛けています。	○	以前は同系列に栄養士がおり献立のチェックができていましたが、離職されたため、栄養士の連携を作っていききたいと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	予防注射や、勉強会等で対応、意識を強めています。	○	これで完璧と言うことはないので今後も意識を切らないように努めていきたいです。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	塩素系液体で掃除は行っています、食材も賞味期限を注意し食材管理に努めています。	○	これで完璧と言うことはないので今後も意識を切らないように努めていきたいです。
<p>2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	極力物を置かないようにし清潔感を出したいと思っています。植物等の緑が足りていないと思います。	○	植物を増やしていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	施設臭がなく飾り物や置物等も家で使っているものを使用しています。子供っぽくならないように心掛けています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	談話スペースを確保し部屋以外でも静かな時間 気のあった方同士の時間が取れるように気をつけています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	身体的に害があるものの場合を除き本人、ご家族と相談し好きなものを持ってきていただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日中の換気、共同スペース、各居室に温度計を設置し温度管理に努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりや、机等を利用し移動して頂いています。 車椅子や、歩行器、階段には昇降機をつけ対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	失敗ごとも本人の前で指摘せず、見えないように職員で対応しています。自信を無くすより、持っていただきたいと思っています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	現在は畑のみ外にありますが、好きな方は楽しんでおられます。		

V サービスの成果に関する項目 2階

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者の ● ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ● ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ● ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ● ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ● ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ● ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ● ③ あまり増えていない ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ● ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ● ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらい ● ③ 家族等の1/3くらい ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目